



岡山県原水協通信

2013年5月7日 No258
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島田町4-25
TEL086-244-4526 (F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

5月度(第56回目)の署名行動をしました。

岡山県原水協は5月7日、5月度(第56回目)の6・9行動をおこないました。

この日の行動には県労会議、自治労連、医労連、岡山市職労、平和委員会、事務局から14人が参加しました。

平井事務局長は「朝鮮半島の軍事的緊張の解決は武力によらず話し合いによる解決を図るべきです。アメリカは自分の保有する核は『安全の保証』といい、北朝鮮には核兵器を持つな、使うなと言っても説得力はありません。核兵器全面禁止こそもっとも有効な解決策です。」と訴え、また「安倍首相は中東に出かけて『フクシマを経験してもっとも安全な原子力発電』の触れ込みで原発輸出の合意を自慢していますが、福島の実状をなんと認識しているのでしょうか。ヒロシマ、ナガサキ、フクシマを経験した被爆国日本が世界に先駆けて核兵器廃絶、放射能被害撲滅のイニシアチブをとるべきです。」と訴えました。

昼休みの短時間の行動でしたが18筆の署名と1005円のカンパが寄せられました。



第56回目の署名行動5月7日 JR岡山駅前

赤磐原水協 足王神社春の大祭会場で署名行動



赤磐原水協は4月29日、赤磐平和委員会、赤磐9条の会と共同で市内の足王神社春の大祭で参拝客に「すべての国の政府に、すみやかに核兵器禁止条約の交渉を開始するよう求める」アピール署名を呼びかけました。「原発に使うお金を自然エネルギーの開発に回すべき」という男性や、「北朝鮮の核開発が心配です。早く核兵器禁止条約を結んで、解決してほしい」と母乳車の女性は話し署名に応じてくれました。3団体の会員16人が参加したこの日の行動、夫婦や親子連れ、並んで署名する中学生のグループなど1時間で152筆の署名が寄せられました。

署名行動の後、参加者で記念撮影 4月29日

水島 マラヤ募金 5670円

水島原水協は4月25日理事会を開きました。前理事長の大飯原発視察の報告をうけ、平和行進、世界大会の取り組みについて議論しました。広島に20

人十日帰りバス、長崎6人の派遣を始め、100万円募金をやりぬく決意をかためました。理事会に参加した理事から早速5670円の「マラヤ募金」が集まりました。

岡山県原水協2013年度総会・学習会

5月18日(土)PM1:30~ 岡山市勤労者福祉センター